

令和7年2月（第11回）教育研究評議会議事要旨

日 時 令和7年2月19日（水） 13:30～14:20
場 所 本部棟第一会議室（ウェブ会議システム「Microsoft Teams」を併用）
出席者 36／39
欠席者 石田副理事、成瀬副理事・医歯薬学総合研究科長、廣畑保健学研究科長

○ 前回議事要旨の確認

令和7年1月開催（第10回）の議事要旨について、原案のとおり承認された。

○ 議 事

1 審議事項

（1）規則の制定について

三村理事の指名により、佐藤（法）副理事から、資料1に基づき、以下の規則の制定について説明があり、審議の結果、承認された。

① 国立大学法人岡山大学名誉技術総監及び名誉技監の称号の授与規則

- ・学外の著名な技術者に対する名誉称号「名誉技術総監」及び本学技術職員（教育研究系、施設系、医療系）に係る退職後の名誉称号「名誉技監」の新設のため。

（2）教育学研究科 教育科学専攻の「3つのポリシー」の制定について

菅理事から、資料2に基づき、令和7年度における大学院教育学研究科修士課程教育科学専攻の改組について、令和6年8月20日付けで文部科学省に承認されたこと及びそれに伴ういわゆる「3つのポリシー」等を新たに制定する旨の説明があった。

菅理事の指名により、高瀬教育学研究科長から、資料2に基づき、教育科学専攻「教育学学位プログラム」及び「教育データサイエンス学位プログラム」のそれぞれについて、教育の方針（「教育の基本的目標」及び「養成する人材像」）、卒業認定・学位授与の方針（ディグリー・ポリシー）、教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）及び入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に係る説明があり、審議の結果、承認された。

（3）学士課程・大学院修士課程を通じた学生の英語総合力の伸長の経時的評価について（変更案）

菅理事から、資料3に基づき、学部学生の入学時においては英語4技能（リスニング、リーディング、ライティング、スピーキング）の測定ニーズが高い一方で、3年次以降は、就職や進学を見据えた TOEIC L&R（リスニング、リーディング）へのニーズが高まるという学生アンケート結果を踏まえ、また、TOEIC L&R の Linguaskill（リンガスキル）に対する費用面の優位性を理由に、本学が学生の英語総合力の伸長の経時的評価のために利用する英語外部検定試験に係る変更案について説明があり、審議

の結果、承認された。

(4) 共同研究講座の設置期間等の更新について

学長の指名により、三村副理事から、資料4に基づき、共同研究講座「肝・腎疾患連携推進講座」に係る期間延長について提案があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

なお、本件は、3月開催の役員会に諮ることとした。

(5) 寄付講座及び寄付研究部門の新規設置、期間延長及び内容変更について

学長の指名により、佐藤（法）副理事から、資料5に基づき、以下の7件の寄付講座及び寄付研究部門に係る新規設置、期間延長又は内容変更について提案があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

- 岡山県南東部（玉野）総合診療医学講座 (大学院医歯薬学総合研究科)
- 岡山県南西部（笠岡）総合診療医学講座 (大学院医歯薬学総合研究科)
- 実践地域内視鏡学講座 (大学院医歯薬学総合研究科)
- 慢性腎不全総合治療学講座 (大学院医歯薬学総合研究科)
- 臨床小児科学講座 (大学院医歯薬学総合研究科)
- 小児地域医療学講座 (大学院医歯薬学総合研究科)
- 癌幹細胞工学研究部門 (大学院ヘルスシステム統合科学研究科)

なお、本件は、3月開催の役員会に諮ることとした。

2 報告事項

(1) 職員の処分について（陪席制限）

学長から、教員の懲戒処分を行った旨の報告があった。

(2) 令和7年度国立大学法人岡山大学予算編成方針について

袖山理事から、資料6に基づき、令和7年度は第4期中期目標期間の4年目であり、国の運営費の配分ルールに大きな変更はなく、本学としても中期目標・中期計画の着実な実現を目指すことに変更ないことから、構成上の変更等は行っていないこと、一方で、諸物価上昇、人件費増大等を要因とする厳しい財務状況を踏まえた支出削減や多様な収入の確保・増大等の取組を進める必要性の観点から、一定の修正等を行ったこと等の概要説明の後、主な変更部分に係る種々の説明があった。

以 上